

一般質問通告書

令和7年 第3回定例会において、下記の事項について一般質問を行いたいのので会議規則第62条第2項の規定により通告します。

令和7年 8月18日 議員 六鹿 正規



会派名 民ノ風

海津市議会議長 様

受領番号 第 11 号 受領日時 令和7年 8月18日 15:55

要旨 ① 道の駅を核とした地域活性化について

質問相手 市長



要旨 ② 基金運用と債権購入について

質問相手 副市長

要旨 ③物価高騰対策について

質問者 市長

質問内容

①全国各地の一般道路沿いにある「道の駅」は、国土交通省による登録制度に基づく施設で、今年6月末現在で1,230カ所に上ります。県内には55カ所あり、北海道に次いで全国2番目に多い数です。道の駅は、駐車場やトイレなどの「休憩機能」、道路や観光などに関する「情報発信

機能」、農産物直売所など地域振興に寄与する「地域連携機能」を併せ持つことが登録要件であります。海津市には2カ所の道の駅があります。長良川右岸堤平田町地内に「道の駅クレール平田」、そして国道258号南濃町地内に「道の駅月見の里南濃」があります。それぞれがアイデアを出し合い、新商品の開発やイベント等々で地域振興に大きく貢献され、地域に溶け込み、訪れる方々の多くがリピーターとなり、イベントなどを大変楽しみにしてお見えになるとお聞きします。近年、道の駅に期待される機能は増しており、国や自治体は取り組みを強めていると聞きます。例えば21年に始まった「防災道の駅」制度は、大規模災害時に救援活動拠点や緊急避難所になる機能を持つ道の駅を国が選び、整備を支援するものであり県内には2カ所あります。また、県内外の道の駅では、地元学生と連携した商品開発、自然体験ツアーの受付等々、道の駅単体の魅力向上を超えて、道の駅を核として地域全体の活性化を図る動きが加速していると思います。そこでお尋ねしますが岐阜県の南の玄関口と言われる海津市、今後道の駅を核にどんな地域活性化を進めていくのかお尋ねいたします。もう一点お尋ねいたします。2つの道の駅の運営はどこですか？今後「道の駅」も指定管理者に委託する考えがあるのか、また、南濃温泉水晶の湯では、現在食事の提供がなされていないと聞くが本当ですか？お尋ねいたします。

②次に第２回定例会一般質問で、基金運用と債権購入について質問した中で、私は基金運用に関する委員会に何故金融関係に携わる人を入れた組織にできなかったのか？とお尋ねをしたところ、市長から「非常にいいご提案をいただいたと私は思っております。そういった専門家のご意見をしっかり踏まえて運営ができるように、委員会で決定ができるように、今後その委員会の在り方をまた考えていきたいと思います。」と答弁がありました。その後どうなったのか、また、組織を構成する段階で金融関係に詳しい人を入れたらという意見は無かったのかお尋ねいたします。

③次に私は第２回定例会一般質問で商品券の配布について質問しました。市長は「私はこの時点でやるともやらないとも言っていない、今後検討していく」と言われましたが、その後どうなったのかお尋ねいたします。